

特別養護老人ホーム 菅田心愛の里

〒221-0864 神奈川県横浜市神奈川区菅田町1122番地

社会福祉法人 七葉会

事業概要：特別養護老人ホーム(定員100名)、短期入所生活介護(定員20名)

職員体制：正規職員58名、非常勤・パート47名

お話を伺った方：施設長 伊藤俊吾さん

※職員体制は令和2年11月1日現在



新卒・若者

転職者

職員の成長を促し得意分野を活かす 職場環境が職員の定着率を高める

菅田心愛の里(以下、心愛の里)の理念は「和顔愛語賛嘆」。職員は穏やかな顔と優しい言葉で相手を称え、利用者やご家族の笑顔のために働くことを目標に掲げています。その実現のために、職員が成長し働きがいを感じられる職場環境を整え、職員間の交流を深めることにより、職員と入居者双方の高い満足度を実現しました。

職員の長所や得意分野を活かして、新しい事業展開につなげる

「入居者1.8人に1人の職員配置」。この数字を意識して、職員の確保に努めています。この職員体制ならば、ほぼ残業なく勤務できる体制がとれるからです。心愛の里では、介護職の月平均残業時間は45分です。仕事に人生の3分の1を費やしているのだから、残りの時間を有意義に過ごすよう職員に伝えています。有給休暇取得率は85%と高水準であり、かつ残った有給休暇は買取りをしています。

福利厚生の充実もアピールポイントです。ユニット型の心愛の里では、職員間の交流は同じフロア内に限られる傾向にあるので、施設全体で暑気払いや忘年会を開催し、積極的に交流の場をつくるよう心がけています。暑気払いでは同世代が集まり、忘年会ではいろいろな世代が関わり合える場にしています。

結婚、出産、育児などライフステージの大きな変化を迎える職員が増えつつあるため、**仕事と育児の両立を法人として応援しています**。妊娠中の職員に対し、状況に応じてリモートワークを導入したり、早出や夜勤のシフトがある施設から日中勤務可能な施設に配置転換をするなどしています。

本苑は62歳が定年ですが、退職後も働き続けることができます。正社員で71歳の介護職が1名、65歳

の職員が3名、活躍中です。

職員に対しては、**自分の長所や得意分野を活かしてほしい**と考えています。たとえば、瀬戸焼の経験を生かして職員が陶器を作る、書道8段の職員に書道教室の指導役を任せるなど、職員の活躍の場をつくる**ことが事業展開の新しい可能性につながっています**。





他施設と積極的に交流し、自分の職場に活かしていく

職員には、いろいろな施設や業界の人達を見てくるように伝えています。以前は四半期ごとに、6名ほどの職員を連れて他施設を見学に行き、その施設長と話をする機会をつくっていました。他施設のよいところを学び、それを自分たちの施設で実践してもらえればうれしいし、外(他施設)を見たからこそ自分の施設の魅力を再発見することにもつながると考えています。

学生に対しても、「当施設だけを見て決めないでほしい。いろいろな施設を見学したり面接を受けてみて、自分に合った施設を見つけてほしい。」と必ず伝えています。



多彩な経歴の職員を受け入れ、新たな事業の先導役を期待

中途採用は口コミのみで、他業種から転職してきた職員を採用しています。異色な経歴の者もいて、お笑い芸人だった職員は、現在生活相談員とケアマネジャーのリーダーを務めています。

本苑は職業訓練校の指定施設になっており、その卒業生を毎年1名採用しています。採用した職員の中に瀬戸焼の

窯元で働いていた職員がいますが、その職員が入職したことで、生活介護の場でパンを焼いたり、陶器を作ることができるようになりました。さまざまな経験をもった職員を採用することで、新しい事業を始めるときの担当者、先導者になってくれることを期待しています。



充実の人材育成プログラム、法人施設間のジョブチェンジ



職員の成長を促すため、経験年数に応じた人材育成プログラムを用意しています。社内研修だけでなく社外研修にも職員を積極的に送り出すほか、資格取得も手厚く支援し、研修・資格取得に関わる費用は全額施設が負担しています。その結果、介護職員(受験資格を有する者)の9割以上が介護福祉士の資格を取得しています。

また、法人内の施設間で職員を異動させる流れをつくりました。特養を基本に、職員は短期入所生活介護(ショートステイ)、放課後等デイサービス、居宅介護支援事業所の各施設に異動します。違う事業所で経験を積むことで、自分の適性や施設との相性がわかり、職員のキャリアアップにより効果が生まれています。